

平成29年度
事業計画書

平成29年3月
一般財団法人 西日本産業衛生会

<はじめに>

平成28年度は、雇用・所得環境の改善が続く中で各種政策の効果もあって、緩やかな回復に向かうものと考えられていましたが、4月の熊本地震の影響によりブレーキがかかり、特に九州経済は観光業を中心に大きな打撃を受けました。あれからまもなく1年、早期の完全復旧に期待したいところです。日本経済全体で見ると、ここにきて輸出の増加が景気の押し上げに寄与し、設備投資も復興需要や大都市圏の再開発など建設投資の増加を背景にプラスに転じてまいりました。

次年度については、引き続きIT産業を中心とする輸出の持ち直しや公共投資の増加、個人消費が底堅く推移することなどにより、緩やかに回復していくことが期待されます。ただし、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響に留意する必要があります。また、実体経済の下振れリスクが顕在化する可能性も残っており、景況感については不透明と言わざるを得ません。

こうした中で当財団は、3月に八幡健診プラザを新築オープン、5月には福岡健診診療所の大規模改修、8月には北九州健診診療所の改装を行いました。また、懸案であった新健診システムも漸く全体像が見えてくる状態となりました。業績については、施設ごとの濃淡はあるものの、投資効果等もあって全体では前年を大幅に上回る増収となっています。一方、収益ベースでも、移転による4億円を超える特殊要因のあった前年に対して大きな増益となる見込みです。

29年度については、新健診システムの大半が稼動を始め、それに伴い償却負担も増加しますが、これは今後5年間続きますので、今まで以上の安定した収益確保が不可欠となってきます。

少子高齢化に伴い労働人口の減少が予想される中、今後も持続的成長を続けるためには、職員一人一人が市場環境の変化を敏感に捉え、それに対して柔軟に対応していくことが求められます。現状に満足することなく、当財団の発展に向けて全職員の知恵を出し合うとともに、業務フローの改善や、無駄な作業の排除などによって労働生産性を高め、強靱かつ柔軟な組織体制を構築して参りたいと思います。

平成29年度を迎えるに当たり、下記の基本方針に沿って事業の遂行に努めます

< 基本方針 >

「信頼・協調・貢献」の基本理念のもと、「疾病予防、健康維持・増進を通じて、勤労者とその家族並びに地域住民の健康づくりに資することにより、健康で活力のある社会の実現に貢献する」ことを当財団の目的として掲げ、その実現に向けていかなる環境の変化にも対応できる強靱かつ柔軟な組織・体制の構築を目指します。

<重点推進事項>

1. 調査研究

労働衛生機関として、より良い健康管理サービスの提供を行う為、大学や研究機関・関係官公庁・各種団体との連携を図りながら、健康診断等の業務に関する調査や研究を進め、その成果を学会発表及び業界団体等へ公開すること等により、予防医学の発展に貢献いたします。

2. 人材の採用・育成と活性化

当財団の将来を担う若手職員の育成の為、新卒者および既卒者の計画的な採用を今後も続けていくとともに、積極的なジョブローテーションにより人的資源の活性化に努めます。また職員のスキル向上のため、ロールプレイング等を含め、内部研修の拡充に努め、地域住民の健康維持、増進に寄与してまいります。

3. 設備・医療機器の整備

信頼される労働衛生機関として、スタッフの充実と同様、機器の充実は不可欠ですが、既に全施設において、施設健診・巡回健診ともにデジタル化を完了させております。今後も最新機器の導入に努め、業務効率と健診精度の向上を図ります。

昨年は当財団の旗艦施設である北九州産業衛生診療所が3月に「八幡健診プラザ」として新築オープン。5月には福岡健診診療所の大規模改修、8月には北九州健診診療所の一部改装を行いました。平成26年に全面改装を行った大分労働衛生管理センターと併せ、全健診施設の改装が完了しましたが、今後もより多くの受診者様のニーズに応じてまいります。

4. 精度管理の向上・サービスの充実

地域社会へ貢献するため、当法人が所属する日本医師会・全国労働衛生団体連合会・日本総合健診医学会・中央労働災害防止協会・日本作業環境測定協会等が実施する各種学会・研究会・講習会へ積極的に参加し、更なる知識・技能の習得向上に努め、すべての事業部門に亘る精度の維持向上をはかります。

また、「CSとESの向上・経営判断のスピードアップ」をコンセプトとして構築中であった新健診システムについては、漸く全体像が見えるようになり、29年度中に完成の予定となりました。今年度は新受診票のOCR化や巡回健診のPC受付、新読影支援システム等が稼動予定であり、稼動後は一層の精度向上、結果報告の迅速化、事務の標準化・効率化、さらには情報の共有化が可能となる見込みです。今後も、業務の更なる改善を図ってまいります。

5. コンプライアンスの徹底

コンプライアンスの徹底を行なうとともに、顧客満足度の向上を図り、信頼され選ばれる法人を目指します。

<各事業における具体的推進計画>

(計数計画については別表(6～8頁)の通りです)

(公益事業)

(1) 産業保健事業

全国有数の活動実績を持つ産業保健事業は当財団の特色であり、今後とも当財団「公益事業」の中核を成す事業として推進してまいります。

産業保健を取り巻く環境は他の事業と同様、常に変化しております。健診では単に受診するのみでなく健診を受けた後の保健指導を強化する流れがあります。事業場様、健康保険組合様は近年データヘルス計画に取り組みつつ、より健康増進・疾病予防に繋がる健診のあり方や保健指導、特定保健指導の見直しを考えられています。

また、過重労働・メンタルヘルスの対応も年々増えています。平成26年の労働安全衛生法の改正に伴い、ストレスチェック制度が27年12月より施行され、28年6月には化学物質のリスクアセスメントが義務化されました。

これらの変化に対応するためには人財の確保と一層の教育が欠かせません。特に産業医は全国的な医師不足で困難な状況ではありますが、確保に努めます。本年度も地域の皆様の職場環境向上のため、可能な限り貢献してまいります。

(2) 健康情報発信 他

- ① 23年度より創刊し、当財団の健康情報誌と位置づけている「あんしん通信」を、現在年4回、年間20万部発行しております。また年1回の保存版として「博多あんしん通信」および「大分あんしん通信」をそれぞれ3万部発行しており、今後も、より充実した内容で有用な健康情報を提供し健康管理への意識の高揚に努めます。
- ②健康および労働環境に関するセミナー等を通じて、周辺企業および住民の健康に関する普及啓発活動を行い、広く健診の受診を勧奨してまいります。
- ③健康診断結果を集計し、分析・発表することにより、広く健康管理の重要性を訴えてまいります。また昨年、当財団として初めて発刊した「事業年報」の刊行を継続するとともに、更なる内容の充実を目指してまいります。

(収益事業)

(1) 健康診断

当財団の基幹事業であり、今年度も最重要事項として計画の遂行に取り組みます。経済環境が不透明な中、受診者の増加は限定的であろうと推察されますが、当財団としては、引き続き受診率の向上を目指しながら、皆様に満足頂ける質の高いサービスを提供してまいります。

①一般健診及び特殊健診

法的に義務付けられている基本的な健診である一般健診（定期健康診断・雇入れ時健康診断）および特殊健診については、引き続き地域に情報を発信しながら受診率向上に取り組めます。

②協会けんぽ健診及び生活習慣病健診

全国健康保険協会管掌保険の被保険者・扶養者を対象とする協会けんぽ健診については、年々着実に受診者数は増加しています。引き続き当財団施設間で協調しながら事業者の方々の利便性を高め、受診率向上に貢献いたします。

生活習慣病健診については、その重要性についての啓蒙を続けながら、健診精度の向上と、有効な指導への要請に応えるべく体制を整備してまいります。

特に、特定健診の開始により保険者に求められている受診率の向上には配偶者健診の充実が欠かせませんが、当財団では地域の健康保険組合の皆様とともに20年以上に亘り独自の仕組みで主婦健診（ヘルスチェックママ）に取り組んでまいりました。そのノウハウを発展継承して地域の健康増進に努めつつ、新健診制度の確立にお役に立つよう尽力いたします。

③人間ドック

人間ドックは主として施設での外来健診となります。全施設が画像系健診機器のデジタル化を終えておりますが、更に設備・機器のバージョンアップに努め、ご契約頂いている各企業・団体・健康保険組合・共済組合様、それぞれのニーズに沿った精度の高い健診を提供できるよう努めてまいります。

④PET健診

北九州エリア最初のPET健診施設としてPET健診センターを開設以来14期目となりますが、地域での認知度も向上し連携医療機関様からのご依頼である保険診療を中心に需要は安定しております。また昨年は、より精度の高い健診を目指して、最新のPET-CT機を導入致しましたが、今後も地域社会から「がん」を撲滅するために貢献すべく鋭意努力を継続いたします。

(2) 環境測定

職場の作業環境の健全性維持は、勤労者の健康保持に欠くことのできないものであり、労働行政および労働衛生関係団体と連携を図りながら、職場環境の改善と維持に貢献できるよう取り組んでおります。平成21年度

からは北九州と大分に独立していた環境測定部門の一体運営を行っており、両施設の強みを活かしながら全国でもトップクラスとの評価を受けている高い測定・分析精度を維持しつつ、職員の更なるスキルアップ、分析機器等の拡充を計画的に進めてまいります。

また、当財団の環境測定部門は単に測定・分析業務にとどまらず、永年の業務遂行の過程でスキルを蓄積してきた労働衛生コンサルタント業務も行っており、作業環境管理・作業管理・健康管理業務全般をご支援できるエキスパートとして地域社会への貢献を目指しております。

平成24年に全国で6番目、大阪以西では初の「作業環境測定士登録講習機関」の登録を取得し、第1種及び第2種作業環境測定士講習を実施するとともに、有機溶剤・特定化学物質等の「作業主任者技能講習」の推進を図ることにより、西日本地区の労働衛生関係スタッフのレベルアップに寄与してまいります。

(3) 病院

医療・介護制度改革により事業環境は引き続き厳しい状況にありますが、次の事項を重点に取り組みます。

① 病床転換計画の早期履行

・介護療養病床 60 床の医療病床への転換を早期に実現し、地域医療構想に左右される事のない確固たる病院態勢を創ります。

② 現有医療連携体制の再構築

・年間を通じ若杉病院患者需要を満たし得るよう、現有の連携病院ネットワーク(供給)を拡充・再構築いたします。

・また、定例的な病院案内会の開催や地域事業への積極的な参加等を実施し、新たな連携先との多様なチャンネル構築を図ります。

③ 地域貢献と将来に向けた布石

・地域になくってはならない病院を目指します。その為には地域ニーズを的確に捉え、地域住民に安心と安全を提供できる病院となる仕組み造りを本格的に検討・検証し将来に向けた布石を打ってまいります。

以 上

1.事業計画
(公益事業)

区 分		平成28年度実績見込(注1)		平成29年度計画		備考
(1)産業保健事業	実施事業場	586		600		
(2)健康情報発信	健康情報誌	260,000		260,000		発行部数

(収益事業)

区 分		平成28年度実績見込(注1)		平成29年度計画		備考
(1)健康診断	一 般 健 診	186,744	42.3%	186,840	40.8%	人員
	協会けんぽ(旧政管)健診	76,310	17.3%	80,140	17.5%	〃
	生活習慣病健診	59,841	13.6%	60,990	13.3%	〃
	ド ッ ク 健 診	27,309	6.2%	28,670	6.3%	〃
	P E T 健 診	4,367	1.0%	4,660	1.0%	〃
	付 加 健 診 (注)	(214,528)		(218,490)		件数
	特 定 健 診	18,010	4.1%	20,780	4.5%	人員
	再検査・二次検査	7,143	1.6%	6,982	1.5%	〃
	特 殊 健 診	61,746	14.0%	68,740	15.0%	〃
	外 来 診 療 (注)	(834)		(850)		〃
合 計		441,470	100%	457,802	100%	延べ受診人員(注2)
(2)環境測定	作 業 環 境	10,107	26.4%	10,446	27.7%	件数
	煙 道 ガ ス	290	0.8%	305	0.8%	〃
	石 綿	1,543	4.0%	1,592	4.2%	〃
	そ の 他	26,329	68.8%	25,401	67.3%	〃
合 計		38,269	100%	37,744	100%	件数
(3)病院	入 院	105,834		105,211		延べ人員
	外 来	9,296		9,376		〃

(注1): 平成28年度実績見込は、平成29年1月迄の実績に基づき推計により算出。

(注2): 健康診断合計には、()内数値(付加健診及び外来診療)を除き、一般健診については有害業務従事者の重複健診、協会健診については付加健診・がん健診ほかの重複受診者を含む延べ人員を表示。

2.収益事業内訳

(1)健康診断

区分	科目名	平成28年度実績見込	平成29年度計画	備考
一般健診	定期A	71,978	70,300	
	定期B	64,362	66,770	
	定期C	41,409	41,280	
	雇入時健診	8,995	8,490	
	小計(一般健診)	186,744	186,840	
協会けんぽ 旧健診	一般健診	63,850	64,100	
	付加健診	1,473	4,620	
	乳がん	4,655	4,840	
	子宮がん	6,106	6,380	
	その他(特定健診等を含む)	0	0	
	肝炎ウイルス検査	226	200	
小計(協会けんぽ健診)	76,310	80,140		
生活習慣病健診	共済組合	7,848	7,850	
	指定健診	46,517	47,510	
	ヘルスチェックママ	5,476	5,630	
	小計(生活習慣病健診)	59,841	60,990	
ドック健診	日帰り人間ドック	24,814	26,070	
	日帰り人間ドック(配偶者)	1,728	1,800	
	一泊ドック	767	800	
	小計(ドック健診)	27,309	28,670	
PET健診	PET健診	4,367	4,660	
	小計(PET健診)	4,367	4,660	
付加検査	付加検査(オプション)	214,528	218,490	
	小計(付加検査)	214,528	218,490	
特定健診	特定健診	18,010	20,780	
	小計(特定健診)	18,010	20,780	
再検・二次検査	再検査	6,047	6,030	
	胃・十二指腸	59	40	
	大腸検査	2	2	
	腎機能	228	240	
	肝機能	148	120	
	耐糖検査	308	270	
	CT検査	20	30	
	その他二次検査	331	250	
小計(再検・二次検査)	7,143	6,982		
特殊健診	じん肺	7,812	9,600	
	歯牙	896	950	
	鉛	939	880	
	有機溶剤	12,409	12,640	
	コールタール	1,474	1,570	
	紫赤外線	3,351	5,020	
	騒音	9,528	11,320	
	振動	2,162	3,470	
	VDT	4,374	4,160	
	石綿	2,422	2,320	
	その他特殊	15,988	16,450	
	特殊二次	82	60	
	管理手帳	309	300	
小計(特殊健診)	61,746	68,740		
外来	外来	834	850	
	小計(外来)	834	850	

(2) 環境測定

科 目		平成28年度実績見込	平成29年度計画	備考
作業環境	粉 じ ん	1,729	1,950	
	特定化学物質	3,121	2,656	
	金 属	452	447	
	有機溶剤	3,027	2,945	
	騒 音	675	814	
	照 度	3	9	
	事務所管理	15	26	
	局所排気定期点検	638	744	
	作業環境診断	26	10	
	そ の 他	421	845	
小 計	10,107	10,446		
煙道排ガス	煤 じ ん	123	128	
	硫黄酸化物	50	54	
	窒素酸化物	111	116	
	そ の 他	6	7	
小 計	290	305		
その他	排 水	467	450	
	飲料水	117	136	
	産業廃棄物	537	601	
	そ の 他	1,694	1,639	
	(特検)鉛	340	25	
	(特検)有機溶剤	23,174	22,550	
	石 綿	1,543	1,592	
小 計	27,872	26,993		
合 計	38,269	37,744		

(3) 病院

項 目		平成28年度実績見込	平成29年度計画	備考
入	院	105,834	105,211	
外	来	9,296	9,376	
合 計		115,130	114,587	